

第33回 日本公民教育学会全国研究大会（埼玉大会）のご案内
(第二次案内)

大会テーマ：公民的資質から公民としての資質・能力へ

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年度から、新しい学習指導要領に基づく授業が、小学校、中学校に続いて高等学校でも実施されました。新しい学習指導要領では、社会科・公民科の目標が「公民としての資質・能力の基礎」（小・中）、「公民としての資質・能力」（高）の育成となっています。つまり、小・中・高の社会科公民科の目標は「公民としての資質・能力」を育成することと整理されました。これは、これまで「公民的資質」の育成として説明されてきた社会科の目標とどのような関係にあるのでしょうか。

本学会の研究大会は、第30回福岡大会では「18歳成年」、第31回大阪大会では「社会の課題について考え、主体的に行動する力」、第32回信州大会では「社会に主体的に参画できる力」がキーワードとして挙げられてきました。いずれも、成年年齢に達するとともに公職の選挙権を有することになる18歳段階までに育成する資質・能力に関係しています。今回の埼玉大会では、これまでの議論を踏まえつつ、そもそも長らく社会科・公民科の目標とされてきた「公民的資質」と「公民としての資質・能力」はどのような関係にあるのか、どのように授業を構成するのか、どのように評価するのかという点について検討することにしました。

埼玉大会は、3大会ぶりに対面開催をすることになりました。対面で開催できることを嬉しく思っております。大会形式としては、午前に自由研究発表、午後に大会テーマに関する基調講演とシンポジウムを開催致します。会員の皆様におかれましては、積極的に発表・参加の申し込みをいただき、埼玉の地にお越しいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

2023年5月吉日

日本公民教育学会会長 唐木 清志
第33回大会実行委員会委員長 桐谷 正信

記

1. 期 日 2023年6月11日（日）
2. 会 場 埼玉大学教育学部（埼玉県さいたま市桜区下大久保255）
対面開催 *基調講演とシンポジウムは、後日YouTubeで配信します。
3. 主 催 日本公民教育学会
4. 後 援 埼玉大学、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会
5. 日 程 2023年6月11日（日）

9:00	9:30	12:00	12:05	12:55	13:00	13:50	13:55	14:40	14:50	17:00
受付	自由研究発表		理事会		総会		基調講演		シンポジウムA	
									シンポジウムB	
									シンポジウムC	

《自由研究発表》 9:30~12:00

第1分科会 (A114 教室)

司会：栗原 久 (東洋大学)・小山 茂喜 (信州大学)

- (1) 9:30~10:00
高等学校公民科における哲学対話の取り扱いについての考察
ー公共及び倫理での位置づけを中心にー
豊岡 寛行 (埼玉県立八潮南高等学校)
- (2) 10:00~10:30
公共の扉の授業実践
今 陽童 (法政大学中学高等学校)
- (3) 10:30~11:00
人間としての在り方生き方を探究する「公共」のカリキュラム開発
ー選択・判断の手掛かりとなる考え方への徳倫理の導入ー
阿部 哲久 (広島大学附属中・高等学校)
- (4) 11:00~11:30
租税教育カリキュラムの構想
ー税についての権利意識と社会参加意識に焦点を当ててー
真島 聖子 (愛知教育大学/筑波大学大学院)
- (5) 11:30~12:00
旧制中学校における「公民科」の授業
太田 正行 (元東京都立工芸高等学校)

第2分科会 (A113 教室)

司会：鴛原 進 (愛媛大学)・鈴木 正行 (香川大学)

- (1) 9:30~10:00
「ふつう」を定義することで作られる自他の境界に気付かせる市民性教育プログラムの研究
松原 心 (岡山大学大学院)
- (2) 10:00~10:30
小中学生の世界の問題に対する関心がグローバル・シティズンシップ意識に及ぼす影響
ー社会参加の媒介効果に着目した日韓比較研究ー
Hyun Jaegyun (筑波大学大学院)
- (3) 10:30~11:00
教員こそCitizenshipを
ー公民的資質をinspireするためにー
大滝 修 (東京経済大学)
- (4) 11:00~11:30
北海道を創る18歳市民力の育成に関する一考察
堂徳 将人 (北海商科大学)
川瀬 雅之 (札幌市立札幌新川高等学校)
元紺谷尊広 (北海学園大学)
山口 晴敬 (北海道岩見沢東高等学校)
志田 光瑞 (北海道有朋高等学校)
- (5) 11:30~12:00
オーストラリアの公民教育の成果と課題
ー国家評価プログラム「公民とシティズンシップ」(NAP-CC)の分析を通してー
松井 克行 (西九州大学)

第3分科会 (A112 教室)

司会：川崎 誠司 (東京学芸大学)・中原 朋生 (環太平洋大学)

- (1) 9:30~10:00
地域連携学習において生徒は学びの意義をどのように見出すか
山田 風紗 (岡山大学大学院)
- (2) 10:00~10:30
四象限モデルを使った意思決定学習を通して生徒はどのように価値観の調整をおこなったか
ーコロナ感染症対策を取り上げた授業実践を手がかりにー
周 星星 (岡山大学大学院)
- (3) 10:30~11:00
生徒は論争問題学習に参加できた理由をいかに語ったか
ー高校公民科で包摂的な熟議を実現するためにー
野瀬 輝 (広島大学大学院)
- (4) 11:00~11:30
小・中・高生の「18歳市民力」の実態
ー科研プロジェクト質問紙調査の二次分析からー
大脇 和志 (お茶の水女子大学)
唐木 清志 (筑波大学)

第4分科会 (A214 教室)

司会：井上 奈穂 (鳴門教育大学)・中平 一義 (上越教育大学)

- (1) 9:30~10:00
中学校社会科における選挙立候補者シミュレーション教材の開発
郡司日奈乃 (千葉大学大学院)
小牧 瞳 (千葉大学大学院)
- (2) 10:00~10:30
PCM手法による政策形成能力の育成を目指す高校公民科授業の開発
ー「自主防災組織」を事例としてー
小林 真也 (新潟県立新津高校/新潟大学大学院)
- (3) 10:30~11:00
「社会的ジレンマ」ゲームを用いた「正当な権力」概念の理解
吉田 真大 (渋谷教育学園幕張中等高等学校)
- (4) 11:00~11:30
大学における主権者教育の効果に関する分析
市島 宗典 (岩手県立大学)
- (5) 11:30~12:00
知的障害のある子供に対する主権者教育の現状と課題
ー自立的意思決定を保障するプログラム開発のためのフレーム・ワークの構築ー
桑原 敏典 (岡山大学)

第5分科会 (A213 教室)

司会：釜本 健司 (新潟大学)・齊藤 仁一郎 (東海大学)

- (1) 9:30~10:00
学校と地域を繋ぐ際に連携支援員はどのような葛藤に直面しているか？
－離職した方へのインタビュー調査に基づいて－
波多野雅俊 (岡山大学大学院)
- (2) 10:00~10:30
初任期小学校教員はどのような社会科観を形成しているか
－インタビュー調査を通して－
福田 友香 (岡山大学大学院)
- (3) 10:30~11:00
変動社会を生きる社会科教師のライフストーリーに関する日中比較研究
－バネラルビリティの視点から－
張 傳博 (筑波大学大学院)
- (4) 11:00~11:30
社会正義志向の社会科カリキュラムを実践する教師は何を課題に感じているか
－中都市公立中学校社会科教師へのインタビュー調査を通じて－
奥村 尚 (独立研究者)
田中 峻斗 (広島大学大学院)

第6分科会 (A212 教室)

司会：胤森 裕暢 (広島経済大学)・藤瀬 泰司 (熊本大学)

- (1) 9:30~10:00
国際社会に対する見方・考え方を転換させる小学校社会科授業開発研究
－国際連合は必要か？を通して－
筒井 佑 (岡山大学大学院)
- (2) 10:00~10:30
社会的論争問題を個人の視点から捉え直す学習の意義
－原発処理水を題材として－
片山 元裕 (お茶の水女子大学附属小学校)
- (3) 10:30~11:00
中学校社会科の議論学習における自己評価の意義と課題
岩崎 圭祐 (鹿児島大学)
岡島 春恵 (備前市立伊里中学校)
植原 督詞 (伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校)
井上 昌善 (愛媛大学)
木下 博斗 (愛媛大学教職大学院)
- (4) 11:00~11:30
社会科におけるバーチャル技術がもたらす「デジタル」の新たな可能性
－インクルージョンを視点に－
木下 祥一 (福岡こども短期大学)
早瀬 博典 (筑波大学)
- (5) 11:30~12:00
デジタル・シチズンシップ教育と偽情報
－基礎的考察－
保立 雅紀 (愛知教育大学)

第7分科会 (A324 教室)

司会：橋本 康弘 (福井大学)・加納 隆徳 (秋田大学)

- (1) 9:30~10:00
法的判断力育成のための評価指標の開発
— 個人間の売買契約におけるトラブルの教材化を通して—
宮本あゆは (岡山大学大学院)
- (2) 10:00~10:30
法的紛争解決力の育成を目指した学習指導の特質と課題
— 中国「道徳と法治」中学校教科書の分析を通して—
賀 延松 (岡山大学大学院)
- (3) 10:30~11:00
中学校社会科公民教科書における「人権と日本国憲法」に関する記述の変遷
中台 正弘 (越谷市教育センター)
- (4) 11:00~11:30
ドイツ政治教育実践における生徒発言の文脈理解と解釈の事例研究
的場 正美 (愛知文教大学)

第8分科会 (A325 教室)

司会：田中 伸 (岐阜大学)・宮崎 三喜男 (東京都立田園調布高等学校)

- (1) 9:30~10:00
市民社会と音楽の関わりから学ぶ社会科単元開発
— 山田耕筰の楽曲を通して—
角南葵乃助 (岡山大学大学院)
- (2) 10:00~10:30
自己の生き方と社会をつなぐ参加学習のあり方
— 中国新教科「労働」のカリキュラムを手掛かりとして—
史 鵬宇 (岡山大学大学院)
- (3) 10:30~11:00
「カルト問題」を公民教育でどう扱うか
塚田 穂高 (上越教育大学)
- (4) 11:00~11:30
カナダの公民教育における「気候正義教育」プログラム
— ブリティッシュ・コロンビア州” Climate Justice in BC” を事例に—
押井 那歩 (九州女子大学)

12:05~12:55 (A210 教室)

理事会 ※理事のみ

13:00~13:50 (C1 教室)

総会 ※会員のみ

(C1 教室)

公民教育は「公民としての資質・能力」とどう向き合うのか

唐木 清志 (筑波大学)

「公民的資質」が「公民としての資質・能力」に置き換わったという事実、学校教育で展開される公民教育はどう向き合えばよいのでしょうか。この問いへの回答として、本基調講演では、「成果」と「課題」という2側面から迫ってみたいと思います。まず、成果ですが、「資質・能力」としてその明確化が図られ、目標と内容の再整理が図られることで、授業改善の方向性が定まりました。主体的・対話的で深い学びを実現する方法、児童生徒の学びを適正に評価する方法、こういった議論を本格化させることができます。また、すべての教科の目標が「資質・能力」で統一されたわけですから、教科間の連携もこれまで以上にしやすくなりました。カリキュラム・マネジメントを効果的に行うことで、公民教育の展開を学校教育全体で行うことも十分に可能です。その一方で、課題も存在します。かつては盛んに行われた『『公民的資質』とは何か』という議論が、今後は十分に展開されなくなることを危惧しています。「市民とは」「国民とは」、そして「公民とは」という検討を経て、その教育目標・内容・方法を吟味した上で授業実践を展開することが、公民教育にとっては必要な手続きになります。公民教育を通じて、われわれはどのような市民の育成を目指すべきでしょうか。このことを常に念頭に置き、公民教育実践は構想されるべきです。

《シンポジウム》 14:50~17:00

シンポジウムA (C1 教室)

「問いの構造化」でどのように公民としての資質・能力を育成するか

コーディネーター 峯 明秀 (大阪教育大学)
指定討論者 樋口 雅夫 (玉川大学)

「公民としての資質・能力」を育成するために、小・中・高等学校を通じて、単元を見通した問いを設定し、社会的事象の意義等を考察したり社会的な課題の解決を構想したりする学習が求められています。小学校学習指導要領解説によれば、問いとは「調べたり考えたりする事項を示唆し学習の方向を導くものであり、単元などの学習の問題はもとより、児童の疑問や教師の発問などを幅広く含むもの」とされています。これを踏まえつつ、本シンポジウムでは、シティズンシップ教育、経済教育、倫理教育においてどのように問いを軸にして単元を構造するのか検討し議論を深めます。

学校シティズンシップ教育の学習単元をどのように構造化するか

— 高等学校公共「公共の扉」単元を事例に —

川口 広美 (広島大学)

経済リテラシーを育成する問いの構造化を意識した単元開発

— 中学校社会科公民的分野(経済)を例として —

田村 徳至 (信州大学)

倫理的主体を育成する「公共」における問いの構造化

小松 伸之 (清和大学)

シンポジウムB (A114 教室)

公民としての資質・能力を育成する学習をどのように評価するか

コーディネーター 磯山 恭子 (国立教育政策研究所)

指定討論者 井上 奈穂 (鳴門教育大学)

「公民としての資質・能力」を育成するための学習評価は、小・中・高等学校を通じて従来の4観点から3観点到整理されました。「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」では「内容のまとまりごとの評価規準」を作成し、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価するとされています。これらを踏まえつつも、本シンポジウムでは、公民としての資質・能力を育成する学習の多様な評価のあり方について検討し議論を深めます。

中学校現場での評価活動の難しさ

－1 単元ワークシートの評価を通して－

石本 貞衡 (練馬区立大泉中学校)

公民科における「公民としての資質・能力」の育成とその評価について

－社会的課題に対する「当事者意識」の高まりに着目して－

渥美 利文 (東京都立東久留米総合高等学校)

「教育的鑑識眼」の発想による「公民としての資質・能力」概念の拡張

－教員の評価観と評価活動を手がかりとして－

岡田 了祐 (富山大学)

シンポジウムC (A214 教室)

政治的中立性を保ちつつどのように公民としての資質・能力を育成するか

コーディネーター 小貫 篤 (埼玉大学)

指定討論者 坪田 益美 (東北学院大学)

今般の学習指導要領では、2015年の公職選挙法改正による選挙権年齢引き下げを踏まえ、主権者教育が重要視されています。高等学校においては主権者教育の副教材が配布されて「現実の具体的政治事象」を扱う授業が求められ、小学校においては歴史学習の前に政治学習が行われるようになりました。ここで問題となるのは教育基本法第14条2項で規定されている政治的中立性です。政治的中立性をどのように考えればよいのか、政治的中立性を保ちつつどのように学習を進めるのかという点について、政治学、主権者教育、法教育の立場から検討し議論を深めます。

中学校社会科における政治的中立性への視座

－政権公約づくりと模擬投票を取り入れた授業の開発－

寺本 誠 (お茶の水女子大学附属中学校)

高等学校における公民としての資質・能力を育成する公民科授業

－政治的中立性と学習者の実態に関する考察を踏まえて－

吉村功太郎 (宮崎大学)

政治哲学における中立性

－リベラルな国家とその批判－

蓮見 二郎 (九州大学)

6. 参加費

(1) 事前納入：2,500 円

- ・**2023年5月29日(月)まで**に、以下の URL からお振込みください。
- ・クレジットカード決済となっております。
- ・クレジットカード決済が難しい方は実行委員会までご連絡ください。

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/63c8e4ea0fc4841085ba383c

(2) 当日納入：3,000 円

- ・取り扱いは、現金のみです。
- ・クレジットカード決済は不可となっております。

7. 今後の日程

- ・大会参加申し込み・参加費事前納入締め切り **2023年5月29日(月)**
- ・大会当日 **2023年6月11日(日)**

8. 大会参加申し込み

大会に参加される方は、**2023年5月29日(月)まで**に以下の URL か右記の QR コードから大会の HP にアクセスしていただき、必要事項を入力し、送信してください。なお、申し込みは大会 HP からでもできます。また、郵送や電話での申し込みはできません。

<https://forms.gle/sHWe6ZXD6iz2ahAr5>

- ※ 参加費のクレジット決済後に大会参加申込フォームにご入力ください。
- ※ 当日の参加申込も可能です。

大会参加
申込フォーム



9. 注意点

- ・基調講演とシンポジウムを録画し、後日 YouTube で配信いたします。
- ・発言は、個人への誹謗中傷等にならないようご注意ください。
- ・録音、録画は禁止されています。

10. 昼食

- ・大会当日、大学生協食堂は営業していません。
- ・別添の「埼玉大周辺飲食店案内」をご参考にしてください。

11. お問い合わせ

日本公民教育学会第33回全国研究大会（埼玉大会）実行委員会
桐谷正信
埼玉大学教育学部社会講座
〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255
Tel 048-858-3193
E-mail saitama.civicedu@gmail.com

第33回日本公民教育学会全国研究大会（埼玉大会）ホームページのご案内

<内容>

大会のお知らせ、各種フォーム、参加費決済等を掲載しています。

<URL>

<https://sites.google.com/view/saitama33/>

大会 HP

